

美化推進結成大会——その後

教育長 内藤 盈成

一千人を超える市民の参加を得て、盛大に美化推進結成大会が行なわれたのは、七月の二十五日のことでした。私は、あれだけ結成大会が盛り上ったので、さぞかしよい効果が生れるものと、期待は大きく、その後毎日登庁の経路を変えながら、市街地の環境美化について見聞させていただきました。経路は、円通院から仲町公園、市民会館、文化会館に至る寺川沿いさらに、自宅より中川沿い、もう一つは、源生稲荷より高尾公園を経て谷村第一小学校に至る家中川沿いの三河川です。



結成大会後、半月たらずで「死んだ川」の姿をまのあたりに見るにつけ、市議会的一般質問でご指摘いただいた「空念仏に終わらないように」の一言が、強く私の胸を痛め、空き缶や汚物が大量に投棄

されて悪臭まで放つ河川の前で、しばし茫然として、立ち尽してしまいました。

しかし、冷静に考えてみると、三万市民すべてが、ゴミを川へ流している訳ではなく、ごく一部の不心得市民によって、川は汚されているという事実が付きましました。市民の皆さん、一握りの不心得市民に街の汚名を代表されては、先人に対して申し訳ありません。汚染の源を追求するため、徹底的に監視体制を組織強化して、勇気をもって不心得な市民を叱り、美化推進に協力者としてよみがえらせる愛情をおし進めていきましょう。

その忍耐と勇気は、やがて来る春、六十一年国体に大きな花を咲かせ、県外の来訪者から、拍手喝采の幕が開くことと確信し、環境美化推進に向けて市民の良識に強く訴えます。

ふるさとカレンダー

九月の写真説明

「道祖神」

市内には、民間信仰の対象となる道祖神が数多く残されています。道祖神は別名「さえの神」と呼ばれていますが、起源については、古代人が集落を形成して社会生活を営んだ原始の段階から、自分達仲間の生活を守るべく、その村に



邪霊・悪鬼の類が立ち入らぬよう遮えざり、はねかえすための呪物を境域に置くことから始まったとするのが、一般的な説です。

道祖神には、しばしば、陰陽石をおいたり、男女二体の結び合う姿をかたどったものを見受けますが、これらはその原始的呪法からの流れと云ってよいでしょう。

道祖神の祭日は、正月十五日を中心に、小正月の行事として、「ドンドン焼き」で行なわれています。



▲市職員による河川清掃

「川をきれいにしましょう」

「家中川の清掃」

去る八月一日、やけつくような暑さのなか、市の職員により家中川（東電谷村発電所前から四日市場瀬中地区までの間、約一キロ）のごみの除去、川岸の草刈りを行ないました。家中川は、昔から市民にとって親しみ深い用水路ですが、それだけに汚染もひどく、ゴミのたまっているところは、ハリガネ、ビニール製品、プラスチック製品、電気製品、空きかん等が心ない人のために投げ捨てられ、まさに死の川という状態でした。きれいな川をよみがえらすためにも、七月二十五日、谷村第一小学校で行なった都留市美化推進協議会発足での「環境美化市民宣言」を考えてみましょう。

造林用苗木のあつせん

市森林組合では、来春の造林用苗木をあつせんします。

希望者はお申し込みください。

申込期限 十一月二十五日

なお、期日過ぎても苗木は受付けますが、補助金交付が来年度になる場合があります。

苗木代金 す ぎ 七十円

ひのき 七十円

あかまつ 三十円

からまつ 三十五円

◎注意事項

新植地が用材林伐採地以外で植付本数が約三〇〇本、面積が十アール（一反歩）以上で、五十六年中に造林計画書を知事に提出してあるもの、また、今年春の寒乾害で枯損した分へ補植する場合、被害届を提出してあれば補植した分も補助金の対象となるとともに五十一以降の造林地で補助金を受けている分は森林災害保険へ加入しているので保険金が支払われますので、苗木申し込みの際は、植栽予定地の、字、地番、及び現況（雑木何年生伐採、原野、用材林伐採跡地、寒乾害枯損地補植等）を調べ印鑑を持参してください。造林計画書、被害届等必要書類は森林組合で作成します。

ただし、地目が畑になっている場所に植栽する場合は、農業委員会が農地転用の手続きを必要とします。